



せいひ会だより

2009年(平成21年)
7月1日発行
<第111号>
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/



日頃の感謝の気持ちをメッセージにした色紙とバラの花をプレゼントさせて頂きました。そして利用者の御家族や職員も一緒にゲームを楽しみました。最初は遠慮がちだった御家族のみなさんも次第に熱中して楽しいひと時となりました。

THANKS
Daddy



6月
3日:花菖蒲鑑賞(大村)
7日:梅ちぎり(GH)
8日:梅の塩漬け(GH)
8日:陶芸教室
3・17日:書道教室(元亀の里)
11・25日:書道教室(風和の里)
13日:誕生会(元亀・通所)
21日:父の日(GH)
26日:消防総合訓練(丘の家)
29~7/1日:職員旅行(香港)

7月

1・15日:書道教室(元亀の里)
2・16日:書道教室(風和の里)
7日:七夕そうめん流し(通所・GH)
9~12日:職員旅行(シンガポール)
11日:誕生会(元亀の里)
19日:そうめん流し(風和の里)
25日:中山郷夏越祭り
28日:避難訓練(元亀の里)
31日:総合訓練(風和の里)

8月

1~16日:4周年記念展(風和の里)
5・19日:書道教室(元亀の里)
6・20日:書道教室(風和の里)
8日:誕生会(元亀・通所)
9日:原爆の日
15日:終戦記念日
夕涼み会
バスハイク(通所)
風和の里開設4周年記念展を催します。
利用者の日常生活の様子を撮影した写真や手作り作品を展示しますので、是非ご覧に来てください。

☆6月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



村上万作様

松隈良子様

平田イエ様

志田信子様

松山一生様

福本輝次様

浅間ヒサ様

パーズティンビュー

橋口サツ様

木村キヨ様

谷口芳子様

井田一郎様

前田靖子様

岩永ミネ様

小玉友芳様

中島貞子様

今回は元亀の里・谷口芳子様にお話を伺いました。

昭和27年、福岡県浮羽郡の柿農家に生まれる。浮羽郡は柿の産地であり、山一面に広がった柿畑で走り回って遊んだ。秋になると山一面が柿色になり綺麗だそう。近くには筑後川が流れ、また筑後川温泉、原鶴温泉などの温泉も湧き出、山と川の自然に恵まれた素晴らしい環境とのこと。

子供の頃は、姉妹と川辺で水遊びしたり柿山でかけっこしたりと自然を満喫していた。また「家族でよく温泉に行きよったとよ」と、温泉が好きで家族皆と出かけるのが楽しみだった。「姉妹仲良しで、兄ちゃん姉ちゃんが何でもしてくれるし、よく可愛がってくれたとよ」と甘えて育ったことを話された。

小学生の頃から家の手伝いをしながら中学、高校と卒業。ある時、雑誌の文通コーナーを見つけ面白そうと思い応募した。そこで、琴海に住む現在のご主人と文通交際が始まった。「あの頃は知り合う機会もあんまりなかったし、電話も簡単にできんやったけん、文通とか手紙のやり取りしかなかったとよ」と話される。

文通の甲斐あって、21歳の頃結婚し琴海町へと嫁いだ。2男・1女に生まれ、縫製工場で働いたり野菜を栽培し子供を育てあげた。「3人共いい子でね、毎週お見舞いに来てくれるし、子供に会うのが一番の楽しみ」と話され、特に2人のお孫さんの話になると成長が楽しみで、「早く逢いたか」と嬉しそうに話されていた。

現在、元亀の里に入所されている。他に楽しみはないですかと尋ねると、「食べるのが好き。特に甘いのが好きでね、アンパンに饅頭、ジュースとか」「甘かもんばかり食べよったけん病気になるたやろう」とのこと。


これからの目標は、「歩けるようになって早く家に帰りたい」と話され、「柿も食べたか」「温泉にも入りたか」と実家の浮羽郡を思い出されていた。リハビリにも毎回参加され、マシンで歩いたりと頑張られている。「自分で動けるようになった!、歩けるようになった!、息子も...」と話されていた。

元気にリハビリ頑張ってください。お誕生日おめでとうございます。



Vitality Space バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動にはこのバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。



梅雨が降り始め、雨が降りはじめ。梅雨時はじめ、雨が降りはじめ。梅雨時はじめ、雨が降りはじめ。

田植えが始まり、酒井ミネ


外に出て
思いっきり深呼吸
初夏の風の味のよさ
木本誠一

茶の香り
甘いお菓子が
ほしくなる
合作


絶好のドライブ日和
菖蒲チラホラ
おやつがおいしい
浦郷ヨシ

母の味
娘に受け継ぎ
ふきの佃煮
井上ナルミ

うたの時間



<p>風和 河野 美恵</p>	<p>元龜 矢島 ハル</p>	<p>風和 田中 アキ</p>	<p>元龜 山川 由喜男</p>	<p>風和 田坂 晴子</p>
-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------



小学生と宿題を思い出した。夏休みに朝顔の観察日記の絵日記を描いた。なかつたよ。なかつたよ。なかつたよ。

あさがお(GH 作)



GH今月の収穫

(中庭で採れました)




職員旅行(香港編)

法人設立20周年記念行事



おいしい料理を、毎日お腹いっぱい食べていたら、帰ってきて体重計に乗ってビックリ。なんと3kg太ってました...

長崎の夜景とはまた一味違う、香港の100万ドルの夜景に感動!

今回の旅行では感動しっぱなし。特に「ブルー・リー像」は超感動しました。又、酔った勢いで「値引き交渉も楽しかったなあ!!」

6月29日～7月1日に第3班が香港に行ってきました。晴天続きで、日本と比べてちょっと湿度が高かったけれど、楽しい旅行となりました

☆梅干し☆



グループホームで梅干しを漬けました。旧翠風前にある梅の木から梅をちぎり、選別し、塩に漬け込み、紫蘇が手に入ると早速、紫蘇を細かくちぎり、入居者に教わりながら、職員も一緒になって作りました。出来上がりが楽しみです。




《プロの涙》

ケアマネ 敏美の独り言

ワールドカップ最終予選・最終戦であった対オーストラリア戦。1対2の負け試合であったが、これが今の日本の実力であろう。試合後、うなだれてベンチに戻る選手達。ただ1人「闘莉王」だけは「涙」を流していた。他の選手に涙はなし。この差は何だろう。確かに「南アフリカ大会出場権」はすでに手にしている。闘莉王の試合後のコメントでは「オーストラリアには借りがある。それをまだ返していない」と言っていた。今回、ベスト4という大きな目標を掲げている日本。本気で達成しようという気持ちを持っているのは現状ではこの闘莉王だけなのかもしれない。試合の流れでも「連動性のある動き」や「意思統一」ができておらず、結果2失点しての敗北。このままでは、前回ドイツ大会の悪夢が再び訪れる。選手達だけでなく我々サポーターも「闘莉王と同じ意識」を持たなければ...。画面上でしか応援できない自分であるが、「12人目の選手(サポーター)の一員」としての誇りを持ち、我が母国日本代表のワールドカップでの活躍を信じ、ぜひ「ベスト4」を成し遂げ全世界を驚かせてほしいと思った今月でした。